

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第8回三郷区地域協議会

## 2 報告（公開・非公開の別）

- (1) 学校適正配置に係る三郷小学校の状況について（公開）
- (2) 諮問事項 新市建設計画の変更について（答申）（公開）
- (3) 地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について（公開）
- (4) 自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」（公開）

## 3 議題（公開・非公開の別）

- (1) 自主的審議事項について（公開）
- (2) 「地域活性化の方向性」の検討について（公開）

## 4 開催日時

令和4年10月18日（火） 午後6時30分から午後8時15分まで

## 5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 6 傍聴人の数

1人

## 7 非公開の理由

—

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）  
市村 学、伊藤光夫、小山和美、平田 清、平田伸一、山口典夫  
吉田一彦、渡部弘美（欠席者2人）
- ・ 市役所：教育総務課 瀧本課長、小林参事
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

## 9 発言の内容

**【難波主任】**

- ・保坂副会長、荇戸委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

**【竹内会長】**

- ・会議の開会を宣言
  - ・会議録の確認：山口委員、吉田委員に依頼
- 次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【滝澤センター長】**

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について —

**【竹内会長】**

次第3 報告（1）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について に入る。  
市教育委員会 教育総務課より説明を求める。

**【教育総務課 瀧本課長】**

「学校適正配置に係る三郷小学校の状況について」、これまでの経過を説明

- ・令和3年3月・11月：三郷小学校保護者との意見交換
- ・令和4年4月28日：三郷保育園保護者との意見交換
- ・6月24日：三郷小学校校保護者との意見交換会 ※今年度1回目
- ・6月28日：地域協議会の研修会で適正配置に係る三郷小学校の状況を説明
- ・9月2日：町内会長との意見交換 ※令和4年1月に引き続いて2回目
- ・10月13日：三郷小学校保護者との意見交換会

※今年度2回目。保育園保護者にも案内し、若干の出席があった。

- ・10月17日：市議会文教経済常任委員会に「上越市の小中学校の適正配置の取り組みについて」説明・報告

**【教育総務課 小林参事】**

- ・当日配布資料No.1により説明

**【竹内会長】**

今ほどの説明に質疑を求める。

**【渡部委員】**

9月16日発行の三郷小学校だより「三郷の子」に、校長先生だと思いが、「三郷小のこれからについて、市教育委員会と保護者・地域の皆さんとの協議が進んでいます」と書かれている。私たちは説明を受けているだけであり、協議はしていないと思う。

説明ではなく、ちゃんと地域と協議をする場を作っていただきたいと思う。

小学校という存在が地域を作る要素の一つであるため、やはり地域にはきちんとした説明と協議をしていただきたいと思っている。

他には、人口減少ということがあり、今すぐ統合ということではなく、説明にもあったように、和田小学校の児童数も減少しているということであれば、何年か後に先延ばしをして、一気に統合することも考えられるのではないかとということも一つ思っている。

**【教育総務課 瀧本課長】**

地域との協議についてであるが、その前段として町内会長の方々と1回・2回、意見交換というかたちで行っている。

これまでの他のところでの取組として、安塚・浦川原・大島のことで言うと、それぞれの区で住民説明会として話し合う機会を設けた。

そのようなことをどうしていくかについては、今後、保護者・地域協議会・町内会長の方々の意見がある程度まとまって、「このように進めていこう」となった段階で広く声掛けをして、協議・意見交換をする場を設けていくことができればよいと思っている。

また、人数が減っているということで、統合の方法というか、和田小学校か南本町小学校なのかは決まっていらないが、どのようにしていくのかについては、また保護者の方々の意向を確認しながら進めていくことになると思う。そのため、現時点で「どうする」ということまでは言えないが、保護者・地域の意見を聞いて、どのようなかたちで進めていくのか、方向性がまとまった段階で、具体的にどうするかということは、その時の話になると思う。

**【教育総務課 小林参事】**

補足である。

今ほど、「まとめて統合することも考えられるのではないか」との意見があったが、当日配布資料No.1の4ページの参考資料を見てほしい。

三郷小学校で再来年度から複式学級が発生した後、そのまま話し合いを進めていく、あるいは和田小学校の児童数が減っていくことを待っていると、令和10年度には三郷小学校の児童数が25人で、入学者も3人という数字になっている。

ただ、これは飽くまでも、今現在の見込みであるため、もしかすると増えることもあるかもしれないが、これまでの経過を見ていると、やはり減っている。

例えば、附属小学校に行ってしまうことになると、さらに減少することが考えられる。

私たちの取組の一つとして、複式学級の場合は子どもの発達段階に合わせた、系統的な学習を実施しにくい部分があるため、1学年・1学級とすることが、まずは適正であろうとの考えを持って、取組を進めているところである。

待っている間に、どんどん子どもたちが少なくなっていき、今の学校の教育活動にも支障が出てしまうというところも考えた上で、保護者との話し合いを進めてきたところである。

**【平田伸一委員】**

確認である。

「保護者・地域と共に合意形成を図る」という考えであるとのことであるが、そもそも、小学校の統廃合について協議する対象者・当事者とは誰と考えているのか。今までの経緯を聞くと、小学校、あるいは保育園の保護者に説明し、その場で理解

を得たとして、そちらはどんどん進んでいるが、町内の住民の一人として、そういった話は全然、聞こえてこない。

なんだかアリバイ作りをして、どんどん進めているような気がしてならない。

もう少し、真摯に向き合ってもらいたい。

次に複式学級の話が出たが、複式学級では駄目なのか。少人数であるが故にそれなりに目が行き届くため、やり方もあると思うが、決して悪くはないと思う。

学校運営上は、ロスが多いとは思う。学校運営もしなければならぬため、それなりの組織も作らなければならず、大変だとは思いますが、それが子どもたちにとって、本当にマイナスなのかというと、そうではないと思う。

やはり少人数の良さという面があって、ある意味、三郷小学校の伝統だったと私は思う。それは良い意味でつなげていってもらいたいとの思いもある。

大きなこととして、一点目の当事者は誰と認識しているのか、そしてそれに対して、何をしようとしているのか、はっきりと示していただきたい。

**【教育総務課 瀧本課長】**

まず、「当事者」についてである。

教育委員会としては、子どもたちの学びの環境をしっかりと確保していこうということで取組んでいるため、これまでもそうであるが、まずは保護者の方々としっかりと意見交換をしてきている。

その中で、決して地域の意見を聞いていないということではなく、並行して、保護者の意見について、本日のように地域協議会への説明や報告、安塚・浦川原・大島の中学校の例で言うと、チラシを全戸配付して周知するやり方も行ってきた。皆さんの意向を伺い、どのようなかたちがよいのか、しっかりと取組んでいくことができればよいと思っている。

次に、「複式学級」についてである。

決して、複式学級が駄目だということではないと思っている。ただ、保護者の方々と意見交換をする中では、やはりある程度的人数で、集団の中で子どもたちが学びや活動が出来る方がよいという意見を多くいただいている。

**【教育総務課 小林参事】**

複式学級について、補足する。

今ほど話があったように、複式学級は少人数ならではの良さはある。

しかし、人数的には、やはりこれからの教育として限界にきていると思っている。

今後、新しい学習指導要領が改定され、「主体的で対話的な深い学び」ということで、いろいろな意見を言い合いながら、新しい価値を作るといような授業スタイルが組み立ててくる。

その際に、ある程度の人数がいる複式学級であれば、グループを変えながら話し合いができたりする。

ただ、だんだんと少なくなってくると、やはり固定した関係の中での話し合いになってしまう。それでは、子どもたちが多様な経験を積み重ねていくことができない。

それらの支援として、対面による合同授業や、現在、タブレットを使用しているため、画面を見ながら他校の子どもたちと交流ができるが、飽くまでも非日常的な方法になってしまう。そのようなことを考えると、やはり保護者の中には、多人数で授業をしてほしいという願いもあり、統合の方に傾いているのであろうと思っている。

複式であると上下関係があり、それぞれにとってよい刺激がある姿もあるが、集団の中で、いろいろな考えを聞いて自分の考え方を作っていくような、これからの教育に適した環境とするならば、やはり「1学年・1学級」という方法が良いのではないかと考えている。

#### 【山口委員】

統合は未確定の話だと思うが、当日配布資料No.1の3ページの「② 統合までの主な取組」の中に、「スクールバスの運行」の記載があるが、何年かすると予算などの関係で運行しなくなるようなことも聞いている。

これは希望であるが、南本町小学校か和田小学校かは別として、地元の子どもたちが三郷小学校に通うよりも距離が遠く、交通事故等の危険も考えられる。祖父母のような立場での願いとしては、そのようなことのないよう、永久的にとは言わないが、できるだけ長くスクールバスの運行をお願いしたい。

**【教育総務課 瀧本課長】**

仮に統合というかたちになった場合、保護者としては、やはり通学手段の確保が一番不安というか、心配すると思う。

これまでに統合した古城小学校と直江津小学校では、古城小学校の子どもたちが通うためにスクールバスを運行している。

また、統合ではないが、春日新田小学校を分割して小猿屋小学校と統合し、有田小学校を新しく作った際、そこについてもスクールバスを運行している。

スクールバスを一度運行し、それを予算の関係で無くすということは決してない。子どもたちの通学に必要なものはしっかりと確保していくため、安心していただけたらと思う。

なお、通学方法については、具体的な例で言うと、現在、安塚・大島・浦川原中学校の統合に向けて準備を進めているが、具体的な準備を進めるために、統合の実行委員会を作っている。その中には通学の部会があり、どうするのかを具体的に検討し、しっかりと準備するように取組んでいる。

それについては、教育委員会としてもしっかりと取組んでいく。

**【平田伸一委員】**

板倉区では、針小学校・宮嶋小学校・山部小学校の3校が統合して、板倉小学校になった。もともとの針小学校を板倉小学校という名称に変えたわけである。

三郷小学校は、小さな学校であるため、いずれどこかと統合する場合、南本町小学校と和田小学校という名前が出ているが、どのような形態になるのか。吸収して、「三郷小学校」という名称が無くなるのか。

**【教育総務課 瀧本課長】**

まず、統合方式には二つある。

大きな学校に小さな学校が統合する場合には、「編入統合」というかたちになる。

今回の安塚・大島・浦川原中学校のように、一度3校を廃止して、無くした後に新しく学校を作ることは「新設統合」というかたちとなる。

最近の例であれば、人数の少ない古城小学校が直江津小学校に編入統合した。

板倉小学校については、同じ区域内の3校を一度廃止して新しく学校を設置した

ため、新設統合となる。

三郷小学校については、現時点ではどこの学校と統合になるのか分からないが、その中での話し合いになる。ただ人数的にいくと、三郷小学校が小規模であり、仮に相手先の学校が大規模であれば、編入統合になることもある。

そこは、統合先として選択された学校との意見交換・協議の中で決まっていくものだと考えている。手続きとしてはそのようなかたちとなる。

**【平田伸一委員】**

参考に聞きたい。例えば、編入統合の場合で、南本町小学校あるいは和田小学校の中でそのような協議が必要になるということか。

**【教育総務課 瀧本課長】**

保護者としては、統合に向かっていきたいという意見でまとまりつつあるのかと  
思っている。

そのため、今後、2校に声をかけるというよりは、どちらかに決めるというか、意見をまとめていく中で、今度は相手先の学校の保護者や地域住民と意見交換をしていくという手続きになる。

**【伊藤副会長】**

私は、13日の説明会に参加したが、参加人数が少ないことに驚いた。

これまでも説明会などがあったと思うが、13日のような人数だったのか、それとももっと多くの参加者が出席したのか気になっている。

参加者は皆、「いずれは仕方がない」という話はしていたが、今回で決定するような感じの説明会ではなく、その場では決められない、という人もいた。

13日の説明会が保護者全員の意向ではないと思うが、今後は保護者への説明というか、周知の仕方なども考えてほしいと思った。

次に、説明会終了後に他の保護者と話をした。資料の1の(1)に記載がある「いじめ等の報告や事例がなかった」ことについてである。他の統合先でのアンケート結果等もあるとの話であったが、どのようなアンケートを取ったのか、それに対する回答や意見といったものも保護者等に示せば不安要素も消えるかと思う。

そういったものも出してほしいと思う。また、先ほど地域住民に周知するとの話



もあったが、段階を踏んでいったとしても、結局最後は決まってからの話になると思う。

地域住民に周知することは、決まってからでは遅いと思うため、その前になるべく早く、町内会長ではなく、広く地域に意見等を聞いたほうが良いと思っている。その辺も考えてもらいたいと思う。

**【教育総務課 瀧本課長】**

13日の会議終了後、PTA会長とも相談した中で、やはり参加人数が少なかったことは確かにあったため、改めてアンケート等で意見を聞くことも必要かという話をした。

地域住民・保護者の中には、幼い子どもがいる等、どうしても夜は参加できないという人もいると思う。そういったことを考え、便りなど、別の方法での周知についても話をしている。

どのようなかたちがよいのかについては、今後、検討・対応していきたいと思っている。

また、地域住民からも、そういった意見をいただいているため、保護者に知らせるような内容を地域住民・世帯にも知らせるようなことができればよいと思っている。必要があれば、地域住民に集まってもらうような場を設定し、説明や意見交換できればよいと考えており、検討したいと思う。

**【教育総務課 小林参事】**

保護者の不安に応えるという部分では、やはりきちんと説明していくことが大切だと思っている。

先ほどアイデアをいただいた。板倉小学校で行ったアンケートについて、例えば、内容や数字等については示すことができるため、PTA会長との話でも今一度、説明の場が必要だということを認識しているので、その場で提示していきたいと思っている。

また、PTAの人数についてである。前回の説明会は、PTAの後の授業参観終了後に実施したが、24～25人ほどの参加があり、今回は20人程度の参加であった。やはり予定があり、なかなか集まりにくいような状況もあるのかと考えてい

る。

前回は参加できなかった保護者に向けて便りを配付した。今回も話し合いの結果をしっかりと示し、意見などがあれば何うようなかたちで、いろいろな人たちと話ができるようなかたちで進めていけるようにしたいと思う。

#### 【渡部委員】

小林参事の言葉の中で、「少人数であると系統的な学習ができない」、「支障が出てしまう」、「限界にきている」というネガティブな言葉が並ぶ。そのような言葉を聞くと、そちらの方向に誘導されていってしまうのではないかと思う。

私もいろいろと調べたが、決して少ないことはマイナスではないと思う。

むしろ、三郷小学校は全部できないと、やっていけないところである。音楽でも体育でも水泳でもそうである。南本町小学校であれば、やらなくて済む生徒がいて、私は中学校で一緒になった時にびっくりした。泳げない、楽器はできない、走れない。やはり、大きなところは大きいなりに、置いていかれる子がたくさんいるのだと、私が中学校の頃感じた。

そのため、あまりネガティブな言葉を選んで説明されると誘導されてしまうように私は感じた。決して、統合に反対ということではないが、作られていってしまうような危険を、言葉の中に感じた。

#### 【教育総務課 小林参事】

私の言葉の中に、そのようなネガティブと取れる印象があったということで、十分に気をつけて話をしていきたいと思う。

#### 【竹内会長】

予定時間となったため、質疑を終了する。

これで終わる話ではなく、まだまだ先に続く難しい問題だと思っている。

本日、出た意見については、地域協議会の中でも取りまとめて、今後の審議の中にも加えていきたいと思うところもある。

地域住民にとっても、非常に興味深い問題だと思っていることは確かである。まだ周知が行き届いていないことは確かであり、地域協議会委員も地域に入り、いろいろなかたちの中でアクションを起こしていきたいとの話もしているため、今後も

情報を伝えてほしいと思う。

以上で報告（１）学校適正配置に係る三郷小学校の状況について を終了する。  
（教育総務課、退席）

— 次第３ 報告（２）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） —

**【竹内会長】**

次第３ 議題（２）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） に入る。  
事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・資料No.1 により説明

**【竹内会長】**

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

以上で次第３ 報告（２）諮問事項 新市建設計画の変更について（答申） を終了する。

— 次第３ 報告（３）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について —

**【竹内会長】**

次第３ 議題（３）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について に入る。

事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・資料No.2 により説明

**【竹内会長】**

- ・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

**【平田伸一委員】**

前回、私から二点ほど発言したが、本当はもう一点ある。

夜、駐車場が真っ暗になっており、防犯上の問題があるため、それも考慮に入れてほしい。例えば、10時くらいまで防犯灯というか、灯が点いていて、自動的に電源が切れるような装置を付ければよいと思う。周りが真っ暗なので本当に暗い。

前回の会議の帰り際に気が付いたが、また具体的に話が出てくる時があると思うので、そのようなこともぜひ、考えてほしいと思う。

また、前回も話したが、やはり全員で協議する時間をしっかりと取ってもらいたい。慌ててやっても良いことにはならないため、協議の仕方というか、運営の仕方として要望する。

**【竹内会長】**

駐車場については、今後の協議などの中で考えていきたいと思う。

また協議・運営の仕方についても、今後の参考にしていきたいと思う。意見を参考にしながら、皆の納得のいく運営をしていきたいと思っている。

・他に質疑を求めるがなし。

公民館班は、これである程度の成果が出たものと思う。

市からの回答が届き次第、今後の展開に結びつけていきたいと思っている。

**【竹内会長】**

以上で次第3議題（3）地域活性化につながる新しい三郷地区公民館の在り方に関する意見書について を終了する。

— 次第3 報告（4）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について —

**【竹内会長】**

次第3議題（4）自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について に入る。

先ほどの公民館の意見書についての事務局の説明の中で、市の回答を受けた後に、今後の方針として公民館に関する自主的審議を継続するのか、または、一区切りと

して別の自主的審議事項を検討するのか、協議してほしい旨の説明があった。

公民館班としての審議を続けていくのか、という点については、市の回答を受けた後、協議会で議論したいと考えている。

一方、春駒の伝承については、春駒班の委員がまちづくり振興会の「春駒伝承活動実行委員会」のメンバーでもあることから、自主的審議の中で、地域活動支援事業のDVD作成に向けて打合せを行ってきたところである。

春駒班でも、今後も「春駒伝承活動実行委員会」としてDVDの活用や今後の取組についての打合せを主に継続していくのか、または、どこかで一区切りとして春駒とは別の自主的審議を検討するのか、協議していくべきとも考えている。

次の議題である「自主的審議事項について」の前に、これまでの春駒班の取組や今後の予定について、報告願う。

**【伊藤副会長】**

- ・当日配布資料No.2により説明

**【竹内会長】**

今ほどの説明に質疑を求める。

**【山口委員】**

「地域のお宝」について、市内の各地域から申請を受付けしているが、春駒も三郷地区のお宝として、今後、申請する予定はあるのか。

**【竹内会長】**

それについて、春駒班の中で協議をしていた。申請は7月下旬で締切っており、今後の募集は、現時点では未定である。

上越市内のお宝が多くなってしまったため、ある程度、登録が制限されたような気もしている。当然、春駒班でもお宝に申請することも考えていたため、今後も行政の動きを見据えながら、進めていきたいと思っている。

- ・他に質疑を求めるがなし。

伊藤副会長の報告にあったように、11月中旬に完成上映会が計画されている。

時間の都合のつく委員は、上映会に参加してほしいと思う。

**【竹内会長】**

以上で次第3議題(4)自主的審議事項「三郷区の郷土芸能 無形文化財『春駒』の伝承について」を終了する。

— 次第4 議題(1) 自主的審議事項について —

【竹内会長】

次第4 議題(1) 自主的審議事項について に入る。

これまで三郷区地域協議会では、二つの班に分かれて自主的審議の協議を行ってきたが、今後も継続するとなると、公民館班は、意見書の提出をもって一区切りとする見込みもあり、今後、何を審議していくべきか検討していく必要がある。

また、春駒班についても、今後も春駒の伝承のための取組についての打合せを継続していくのか、または、別の自主的審議事項を検討していくのか、協議していくべきかと思う。

そこで今日は、今後の自主的審議事項の進め方について、意見交換をしたいと思う。自由な意見を聞き、今後につなげていきたいと思う。

意見のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

確認である。公民館と春駒班の二つの班に分かれて進めてきたわけだが、春駒班については、まだまだやらなければいけないことがあると思っている。

公民館班については、ゴールはどこまでなのか。回答待ちという部分はもちろんあるが。とは言いながらも、私たちの地域協議会としての任期もある。

何を、どこまで求めるのか。よく分からない。

春駒班も同様に、どこまでやるのが私たちの仕事なのか。

正直、春駒班は作業部隊になっており、事業を実施する側になっている。回数を数えたら、20回以上、打合せをしているとの話もあった。

やり方も含めて、どの辺がゴールなのか、話をしていかなければいけないかと思った。私にはよく分からない。

【竹内会長】

公民館班に関しては、意見書を提出すれば終わりなのか、ということではないと思う。実際に公民館が建設できたところが本当のゴールなのかもしれないが、それが理にかなったゴールなのかは分からない。

その辺を見据えた審議の仕方をしていかなければいけないのかと思うが、なかなか難しいと思う。そういったところを考えていかなければならないかと思っている。

公民館班・春駒班ともに、どこがゴールなのかは難しい。

市村委員、何か意見等あるか。

#### 【市村委員】

個人的に、自主的審議が終わった段階で、地域がより活性化することがゴールだと思ってはいるが、公民館にしろ、春駒班にしろ、それが終わった時に本当に地域が活性化できるのか、といわれると正直、この議題を決めたところから疑問であった。

この二つの題材で「ゴール」と言われても、確かにすごく難しいかと思う。

そのため、どこかで一区切りついて、「本当に地域活性化するために、どのようなことが必要なのか」ということは、改めて考える必要があるかと思っている。

#### 【竹内会長】

せっかくなので、1人ずつ順番に発言願う。

#### 【伊藤光夫委員】

公民館班も春駒班も、意見書を作るなどある程度、考えがまとまってきたと思う。

三郷区地域協議会としては、まだまとまってはいないが、この二つを続けていってよいのか、他に自主的審議として取り上げるものがあるのではないか、という気もするため、どこかで区切りをつけてもよいと思う。先ほどの小学校の関係もそうだが、地域の他の問題もあると思う。11月29日に地域団体との意見交換会実施の案も出ているため、そこをスタートとして、いろいろな意見を聞きながら、新しい方向に進んでもよい気もする。

#### 【小山委員】

公民館班については、新しい公民館が建った時点でゴールと思うことができればゴールのような気もするが、春駒班に関しては、終わりが見えないように思ってい

る。また、一つずつやっていかなければならないことが目に見えて出てきたりするので、ゴールはどこなのかと思っはいるが、伝承・保存というかたちであれば、一人でも多く、踊りを覚えてくれる人が出てきてくれた時点で、それが一つのゴールになるかとも考えている。

#### 【平田清委員】

公民館班については、ここで一つ区切りをつけてもよいのかと思っている。最終的に公民館ができあがり、それを見て、本当によい結果になっているのか、というところまで検証することが、本当の意味でのゴールだと思っ。ただ、それがいつになるのか、そのゴールが見えない。

いつ公民館が新しく立ち上がるのかということも見えず、場合によっては「三郷小学校の跡地を」といったことも多分、今後は出てくるように思っ。

それをずっと追求しては、いつまで経っても終わらない。

そのため、新たな問題点等、検討する事項が出た時点で、もう一度、自主的審議事項としてやってもよいのかと思っている。

公民館班については、ここで一度ゴールにしてもよい気がする。

春駒班については、私もどこをゴールにすることがよいのか見えない。だが、少なくとも、来年度にCDを作る、という方向に持っていきたいのであれば、全体のある程度の目途が立たなければ、それをゴールにしてよいのか、はっきりとは言えない状況である。

#### 【平田伸一委員】

ゴールの話をしたが、よく考えてみると我々の任期は再来年の4月28日までであり、残り一年と3、4か月である。

結局、今期、集まった12人のメンバーで協議をして、自主的審議事項を決めたわけである。

だが、任期以降は、当然、委員の顔ぶれも変わり、考え方なども違っと思っるので、そこで改めて協議をして決めていく話なのだと思っ。

自分でゴールはどこだと言っおきながら、このような話をしているが、やはり私たちは、再来年の任期が切れるまでに、各自が納得できるものを、やれる範囲で



やるしかないのかと思う。

また、公民館班については、本日の議題である、小学校の統廃合の話が出てきているため、教育委員会トータルとして考えた場合、統廃合で三郷小学校がなくなった後に、その施設をどうやって運営・管理していくのかを考えた時に、公民館の機能を移すということも、考え方としてはあると思う。

ただ単に公民館だけを新設要望をしても、なかなか違う方向へ行ってしまうような不安がある気がする。

春駒については、自主的に保存できる団体が育ってきてほしい、という思いである。地域協議会としても可能な範囲でやるが、そうなってほしいと思っている。

#### 【竹内会長】

山口委員は、前期の地域協議会から、公民館に関係した審議もしてきたと思う。そのことも含めて、意見があれば発言願う。

#### 【山口委員】

私は長年、地域協議会委員を務めてきたが、ずっと公民館について審議や協議をしてきた。

平田伸一委員の発言にもあったように、やはり委員が変われば、当然、考え方も変わるため、審議内容も変わってくる。

ただ、思いとして、この公民館をどうにかしなければいけないということは一期末から思っていた。

今期の三郷区地域協議会では、公民館班と春駒班の二つのグループに分かれて協議をした中で意見書を出したということだけでも価値があったと思っている。

残りの任期中、公民館について延々と審議するというのも一つの考えだとは思っている。今後、意見書に対して市からどのような回答が来るのか分からないが、公民館班としてはここが一つの区切りかと思っている。ただ、確かに小学校の統廃合の話が出てきている。

その跡地利用については、資料にも記載されているように、教育委員会もいろいろと言っているため、当然、跡地や建物の利用について考えなければならない時期が来ると思う。その時が私たちの任期中であれば、自主的審議事項とする、又は次

期委員に申し送りをするということも一つの方法だと思っている。

春駒班についての個人的な考えとしては、団体が立ち上がったときがゴールだと思っている。自主的審議事項について、これから審議するが、そういったことも含めて、また新たな掘り起こしがあってもよいと思う。

一つ確認したい。地域活動支援事業が来年度から無くなる。これまでに提案のあった団体と話をしたと思うが、それがどのようなかたちとなるのかも含めて、今後は進めていってもよいと思う。

**【竹内会長】**

次に吉田委員から発言を求める。

**【吉田委員】**

公民館班について、意見書の提出は、非常に大変だということを実感している。

今回、市から回答をいただけるということであるので、その段階で一区切りと言えると思っている。

短期的には、次期財政計画の施設の建替えが決まった際には、市からいろいろと調整があると思っている。その時はそれに応じるということで、とりあえずは小学校の統廃合等、いろいろと課題が見えてきたので、新しい課題に取り組むということも考えの一つかと思っている。

**【竹内会長】**

次に渡部委員から発言を求める。

**【渡部委員】**

私は、公民館については詳しく分からないため意見できない。春駒班については、実行委員会として動いていれば、地域協議会の自主的審議事項として協議しなくてもよいと思っている。メンバーは一緒であるが、実行委員会として動けばよいと思っている。個人的には、今、一番の課題である小学校の統廃合について、もっと皆の意見を聞くような取組をしていくことが、残りの任期中にできることなのではないかと考えている。

**【竹内会長】**

次に伊藤副会長から発言を求める。

### 【伊藤副会長】

公民館班としては、意見書を2回出しているため、ある程度が目途が見えていると思っている。公民館の建替えについては、令和5年度からの財政計画に載るとのことであるため、案が出た時に課題等が出れば、その時に改めて自主的審議事項として取り上げて、意見書なりの方法としていけばよいと思っている。

春駒班としては、正直、なかなかゴールが見えないということもある。

だが、三郷まちづくり振興会の中でしっかりと保存会というものができた段階でそちらに移行して、地域協議会の自主的審議事項としては一区切りとして良いと思う。

### 【竹内会長】

いずれにしても、公民館班は市の回答待ちでもあることから、今後は小学校の統合に関係して小学校跡地についても話題となってくると思う。これも課題にしなから自主的審議に取り加えていくことも考えの一つである。

また、春駒班については、伊藤副会長の発言にもあったように、やはり他の団体が受け継いでくれるというところが、一つの大きな力なのかと思っている。

公民館に関しても、三郷まちづくり振興会が毎年、要望書を出しているということもあり、ある程度、行動してくれる団体があるということは非常に力強いという感じもする。

そういうものが常に地区の中で継続して動いている、というところが力強いと思っている。そういった火を消さないような活動も地域協議会委員の役目だとも思うので、バックアップ等もしていくことができればよいと思っている。

いずれにしても、公民館の一区切り・春駒班の一区切り、がどのタイミングなのかについて、皆で協議をしながら進めていきたいと思っている。

今後、二つのグループに分かれる自主的審議事項の運営の仕方もそうだが、全体での審議の体制についても重視していかなければならないと思った。

小学校の統合問題についても、今後、小学校が無くなることによって、地域のものが欠けてしまうような気がしないでもないが、それが自主的審議事項の一つの課題なのかと思っている。

本日出た意見を、事務局と取りまとめ、今後につながる流れとしていきたいと思っている。

次の議題である「地域活性化の方向性」について、意見交換などを行えば、またいろいろな課題も出てくると思っている。

この議題については、なかなかまとめることができないが、いただいた意見を踏まえて今後の自主的審議の方向性を考えていきたいと思っている。

以上で次第4 議題（1）自主的審議事項について を終了する。

— 次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」の検討について —

【竹内会長】

次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」の検討について に入る。

市から地域協議会に作成を依頼されている「地域活性化の方向性」について、当協議会では、6月の第3回と第4回の地域協議会でアイデアや意見をいただいたが、改めて今後の進め方について提示しながら協議していきたいと思っている。

正副会長と事務局との協議の中で、公民館班の意見書提出や、春駒の地域独自の予算へのエントリーが済んだことから、地域団体との意見交換会実施の提案をすることとした。

この意見交換会の計画について、事務局から説明を求める。

【難波主任】

- ・当日配布資料No.3により説明

【竹内会長】

今ほどの説明や今後の進め方について、意見や質問等、求める。

【平田伸一委員】

民生委員・児童委員は、11月30日で3年の任期が終わる。

ほぼ決まっていると思うが、12月1日から新しい人に代わる。その辺はどのように考えているのか。

民生委員は3人いるため、3人来てもらおうということなのか、それとも代表者

一人ということなのか教えてほしい。

**【竹内会長】**

代表の人と考えていたが、任期まで理解が及ばなかった。

開催日が「11月29日」となれば、前任の人、もしくは、既に決まっているのであれば新しい人という考えにもなる。

代表の人で考えてはいたが、それは民生委員・児童委員の中で詰めてもらえればよいかと思うので、対応していきたいと思う。

全て新しい人は決まってきたのか。

**【平田伸一委員】**

12月1日付けで辞令をもらう。

**【竹内会長】**

そうすると、現在の委員ということになると思う。

参加願う団体について、何か意見などあるか。

どのような人がいる・呼びたい人・話を聞きたい人等、何かあれば発言願う。

**【平田伸一委員】**

確認だが、三郷地区の11人の町内会長は呼ぶのか。

当日配布資料No.3の概要（案）に「町内会長協議会」と記載されているが、これは正副会長だけなのか、または11人全員から来てもらうのか、どちらなのか。

**【竹内会長】**

今回は代表者を考えている。

「各種団体」との意見交換会と考えている。

昨年の12月13日に実施した際は、町内会長協議会ということで、11人の町内会長協議会の人たちと意見交換を行った。

今回は「各種団体」と考えているため、町内会長協議会長に出席願いたいと思っている。

前段に意見集約をしていただき、話していただきたいと思っているため、そのような段階を経ていきたいと思っている。

日程については、前回の会議で、協議会として示した日程になっており、内容に

についても事務局と詰めたところである。昨年と同様に、自主的審議事項の報告と意見交換、また地域の課題として、先ほどからの話とすれば、多分「小学校の適正配置」についても話題の中には出てくると思う。そういった中で団体からいろいろな意見が出てくるような気もするので、現状としてはそのように考えている。

先ほどの山口委員の意見にもあったが、概要（案）の「5 内容」に「三郷区のよいところ、魅力について」とある。宝探しではないが、そういったところの意見もいただきながら、今後の活性化につながることを作成していきたいと思っている。

- ・他に意見を求めるがなし。

提案のとおり、11月29日に地域団体との意見交換会を開催することとしてよいか。

- ・よしを確認

では、意見交換会を開催し、地域活性化の方向性作成につなげていきたいと思う。

以上で次第4 議題（2）「地域活性化の方向性」の検討についてを終了する。

## — 次第5 事務連絡 —

### 【竹内会長】

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

### 【滝澤センター長】

- ・次回（地域団体との意見交換会）日程

：令和4年11月29日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館

- ・次々回（第9回地域協議会）

：令和4年12月22日（木） 午後6時30分から 三郷地区公民館

- ・当日配布物：地域協議会だより第50号

八千浦区、中郷区地域協議会の意見書

牧区、名立区地域協議会の「地域活性化の方向性」

フォーラム「創造的過疎」による持続可能な地域づくり チラシ

### 【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

別件で、地域独自の予算のエントリーシートの提出状況はどのようになっているのか。

地域活動支援事業の代わりだとすれば、地域協議会にも関係無くはないように思うので、情報として出せるものがあれば教えてほしい。

【竹内会長】

この会議終了後に説明がある。

- ・他に質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

1 0 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 0 2 5 - 5 2 2 - 8 8 3 1 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。